

平成18年度～平成27年度 近畿公立高等学校修学旅行実施状況の推移

(単位:校数)

年 度	修学旅行実施校			スキー実施校				航空機利用校				海外修学旅行実施校			
	全日	定時	計	全日	定時	計	割合	全日	定時	計	割合	全日	定時	計	割合
平成18年度	492	76	568	171	7	178	31.3%	408	62	470	82.7%	103	9	112	19.7%
平成19年度※	360	55	415	87	7	94		298	38	336		75	3	78	
平成20年度	484	70	554	151	8	159	28.7%	386	52	438	79.1%	109	8	117	21.1%
平成21年度	478	57	535	152	6	158	29.5%	405	47	452	84.5%	76	3	79	14.8%
平成22年度	470	59	529	151	6	157	29.7%	405	39	444	83.9%	74	3	77	14.6%
平成23年度	480	49	529	149	7	156	29.5%	395	33	428	80.9%	85	1	86	16.3%
平成24年度	474	51	525	134	7	141	26.9%	392	34	426	81.1%	86	5	91	17.3%
平成25年度	465	49	514	128	5	133	25.9%	384	30	414	80.5%	101	3	104	20.2%
平成26年度	465	51	516	120	7	127	24.6%	380	25	405	78.5%	109	3	112	21.7%
平成27年度	465	53	518	111	7	118	22.8%	374	34	408	78.8%	100	2	102	19.7%

同一学校でも科別で行先が異なる場合等はダブルカウントしている。

※平成19年度の修学旅行実施校～海外旅行実施校の集計には兵庫県立高校を含んでいない。

- ・スキー実施校の割合はここ5年間減少傾向にあり、10年間では8.5ポイント減少している。
- ・航空機利用校数の割合は平成21年度(84.5%)をピークにその後80%前後で推移している。
- ・海外修学旅行は平成13(2001)年の米国同時多発テロ、平成15年のSARS、イラク戦争、平成21年の新型インフルエンザなど突発的な世界情勢に大きく影響を受けた。その後は燃油SCの変動等により伸び悩んでいたが、平成23年度からは少し回復傾向が見られ、20%前後を推移している。



